



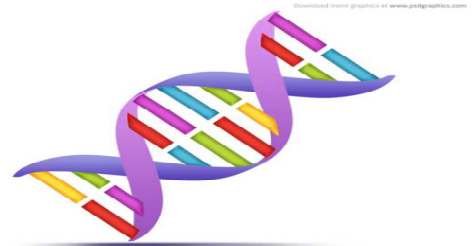
進路指導室だより

平成26年度 第12号 (3月24日発行)

「スイッチ・オン」

2月の初めに熊本県の多くの高校を改革した大畑誠也先生（九州ルーテル大学客員教授）の講演を聞く機会に恵まれました。その講演の中で紹介されたノーベル賞級の生物学者・村上和雄氏（筑波大学名誉教授）の「スイッチ・オン」の話がとても興味深いものでしたので、著書を読んでみました。以下、その内容について紹介します。

- ① 遺伝子とは生命活動のすべての情報をもつものであり、成人には30億の情報をもつ細胞が60兆個ある。でも実際に使われているのはたった2パーセント。
- ② 遺伝子の情報は使われるもの（オン）と使われないもの（オフ）があり、人間の状態を決めるのはこのオン・オフである。
- ③ よい遺伝子をオンにすれば、様々なことがうまくいくようになる。
「奇跡としか思えないような幸運は、心の働きが遺伝子に影響を与え、それが酵素の働きを活性化させた結果と考えられる」精神論を遺伝子の働きで説明している。
- ④ 遺伝子オン（スイッチ・オン）にする方法
 - 1 高い目標を持って、自分を追い込む。（遺伝子は強く必要とされないと目覚めない）
 - 2 失敗を恐れず強い気持ちで挑戦する。（守りの姿勢ではよい遺伝子は眠ったまま。また、遺伝子は危険な状態になると活性化する）
 - 3 「できる」と思うこと。（「できない」と思えば遺伝子は眠ったまま）
 - 4 「ありがたい」という感謝の気持ちで試練に臨む。（プラス思考が遺伝子に影響する）
 - 5 壁にぶつかったら思いっきり環境を変えてみる。（環境ストレスを取り除く）
 - 6 予想外の結果になったとき、それを「面白い」発見や視点にする。
 - 7 頭の中であれこれ考えるより、まず行動に出る。
- ⑤ 遺伝子オンを妨げる6要因（心理学者H・マズローの指摘）
 - 1 いたずらに安定を求める気持ち
 - 2 つらいことを避けようとする態度
 - 3 現状維持の気持ち
 - 4 勇気の欠如
 - 5 本能的欲求の抑制
 - 6 成長への意欲の欠如



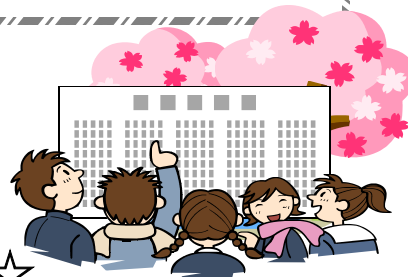
以上の内容は遺伝子レベルで説明されているのでとても説得力があります。要するに心掛け次第で人生が変わっていくのですね。「人生は自分で切り開くもの」それを裏付けるような内容でした。上記のことを、君たちも日常生活に当てはめてみてください。授業や部活動での自分の心の状態は？自宅で勉強する姿勢は？自分の進路に対する考え方は？様々なことを想像してみてください。講演された大畑先生は、大きな声で挨拶をすることでスイッチ・オンの状態をつくっているとおっしゃいました。実際、本当にびっくりするぐらいの大きな声を実践されていました。行動することが大切なんですね。ぜひ、これからの生活の中に「スイッチ・オン」をいたるところに散りばめ、活気溢れる学校生活を送り、人生を切り開いていってほしいものです。

平成27年度大学入試速報

3月23日に平成27年度入試のすべての合格発表が終了しました。今後追加合格等があるかとおもいますが現時点での66期生の国公立大学合格者数（推薦・AOを含む）をお知らせします。

| | | | | |
|---------|--------|---------|----------|----------------|
| 北海道大 2 | 東北大 1 | 筑波大 2 | お茶の水大 2 | 東京学芸大 1 |
| 横浜国立大 3 | 京都大 1 | 大阪大 1 | 神戸大 2 | 広島大 1 1 |
| 九州大 2 1 | 九州工大 5 | 熊本大 2 2 | 鹿児島大 9 4 | その他 4 6 |
| | | | | 計 2 1 4 |

以下には、先輩達の喜びの声を掲載してありますが、男子にしかインタビューできませんでした。本日（24日）7限には先輩達の合格体験談を聞く機会がありますので、女子の先輩の体験談やもっと詳しい情報を楽しみにしてください。



☆☆☆喜びの声☆☆☆

京都大学工学部工業化学科 N. H君

合格直後の実感はあまり湧きませんでした。家族や友達が自分のことのように喜んでくれたり、自分の合格によって希望が持てたと言ってくれる人がいたことがとても嬉しかったです。途中自分が何をやっているのか、何がしたいのか分からなくなることもありましたが、今なら自分は正しかったんだと胸を張って言えます。支えてくれた全ての人に感謝です。

大阪大学外国語学部外国語学科 K. K君

今回、前期で合格を決めることができとても嬉しいでした。センター試験までは教科数も多くきつかったり、志望変更の気持ちが揺らいだりしたこともありましたが報われた思いです。後輩の皆さんはまだ1年ないし2年は残っています。合格の喜びをイメージして勉強のモチベーションを保つようにしたいと思います。

九州大学法学部 K. S君

この度晴れて合格することができました。正直、試験中何度も悪いイメージをしていましたが、そんな時に思い浮かんだのは、共に戦った級友や、お世話になった先生方、そして毎日通った甲南での日々でした。甲南での経験を今後の糧として頑張ります。本当にありがとうございました。

鹿児島大学農学部国際食料資源学科 Y. N君

3年間宿題や予習が多く、苦しかった日々が報われたと思いました。日々、部活に疲れて勉強が嫌になることもあったけど頑張ってきたと自分を誉めてやりたいです。センター試験に失敗して、そこで志望校を変えずにふんばって2次試験の勉強をしました。大学に合格しましたが、今後も勉学に励んでいきたいと思っています。

広島大学法学部法学科 S. K君

無事合格できてすごく嬉しいです。番号を見た瞬間のあの感動は忘れられません。センターまでの道のりは決して楽ではありませんが、その後は自分の本当の力を出せるステージです。新2、3年生も自分の目標に向けて頑張ってください。

九州大学経済学部経済工学科 S. K君

自分の第一志望である大学の学部学科に合格できとてもうれしいです。今まで何度も心が折れそうになることがありましたが、乗り越えてきて本当によかったと思います。新2、3年生も勉強のことなどできついと思うことが多いかもしれませんが、それが必ず受験のときに役立つと信じ、頑張ってください。

合格おめでとうございます。皆さんの新天地でのご活躍をお祈りします。